



ブラジリアの風



「何も思い煩わないで」

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が...」
ピリピ人への手紙4:6-7

2020年の歩みが今日まで守られ支えられてきたことを主と諸教会の先生方、兄弟姉妹に心から感謝申し上げます。ブラジル宣教は第二期8年目の区切りを迎え、この12月に一時帰国の予定でしたが、コロナ災禍によってキャンセルを余儀なくされました。本来であれば諸教会を巡回し、宣教の恵みを分かち合いたいところですが、今回はインターネットを介してブラジルから宣教報告や礼拝説教の奉仕に当たらせていただいています。

ブラジルは11月25日現在、感染者数が600万人を超え、死者は17万人に迫っています。第二波ともいえる感染の再拡大が懸念されています。身近でコロナに感染する人や亡くなる人もおられ、一層の警戒と注意を要しています。

10月に行われたオンライン伝道集会「心のふるさと」では、信仰決心の祈りに導かれた方がおられたと伺い、主の御名を崇めました。結果や反応が見えにくい働きですが、「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見出す」（伝道者の書11:1）のみことばに信頼し、クリスマスも日系牧師会主催でオンライン集会を開く予定で準備を進めています。

同時に、日々、体の弱さや衰えを覚えている高齢の日系一世の方々への訪問やビデオメッセージの配信を続けながら、とりなしの祈りを絶やさないように努め励みたいと願っています。



コロナ禍にあって、特に四男翔は、画面を通してのオンライン授業に困難を覚えるようになり、少人数制で対面授業を継続している学校への転校を考えています。他の事情もあって、来年1月から次男以下三人の転校を予定しています。子どもたちの心が守られ新しい環境に適応できるようにお祈りください。

例年とは大幅に違うクリスマス、年末年始となります。変わらぬ主のご愛と導きに全てを委ねて、「感謝をもってささげる祈り」の日々を積み重ねていきたいと願っています。皆さまの祝福をブラジルよりお祈り申し上げます。

感謝の報告と祈りのお願い

- 宣教の働きと家族の健康が守られていることを感謝。
- コロナ禍にあって高齢の日系一世の方々を守られ、信仰決心に導かれるときとなるように。
- 日本の諸教会への宣教報告が祝され、より強い祈りの絆と協力関係が生まれるように。
- 2021年1月から転校する子どもたちの守り、1月に大学受験を控えている長男真理生（マリオ）のために。

2020.11.25 ブラジリア 浜田献、陽子

「浜田宣教師指定」献金者一覧（2020年9-10月）

松戸福音教会、近藤愛哉、小湊礼拝福音教会、鞭木由行、豊田神池礼拝教会、相馬礼拝福音教会、くずは聖書教会、安城中央礼拝教会、播磨礼拝教会、総和礼拝教会、波崎礼拝教会、光の森聖書教会、石神井福音教会、いこいのある教会、原町礼拝福音教会、竹内豪・里子、久留米聖書教会、矢作礼拝教会、蛍池聖書教会、渡辺賢治、学園前聖書教会、但見亮（敬称略）

(9-10月合計) **326,400円**

(1-10月累計) 1,303,912円 【2020年目標額:160万円】

コロナ禍にあっての尊いご献金をありがとうございます。皆さまの教会、ご家庭の祝福を心よりお祈り申し上げます。